

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公表番号】特表2002-525099(P2002-525099A)

【公表日】平成14年8月13日(2002.8.13)

【出願番号】特願2000-572253(P2000-572253)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 39/00

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 37/04

C 0 7 K 14/82

C 0 7 K 16/32

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68

G 0 1 N 33/15

G 0 1 N 33/50

G 0 1 N 33/53

G 0 1 N 33/574

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 37/04

C 0 7 K 14/82

C 0 7 K 16/32

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/574 A

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成15年8月27日(2003.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネイティブのWT1ポリペプチドの免疫原性部分あるいは1以上の置換、欠失、付加お

および／または挿入において異なるその改変体を含む、ポリペプチドであって、このような改変により、該改変体のWT1特異的抗血清および／またはT細胞株もしくはクローンと反応する能力が実質的に減少しておらず、ここで該免疫原性部分は、ネイティブのWT1ポリペプチド内に存在する16以下の連続するアミノ酸残基を含む、ポリペプチド。

【請求項2】

前記免疫原性部分が、MHCクラスI分子に結合する、請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項3】

前記免疫原性部分が、MHCクラスII分子に結合する、請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項4】

請求項1に記載のポリペプチドであって、該ポリペプチドが、以下：

(a) 表II～XLVIの1以上に列挙される配列；ならびに

(b) 1以上の置換、欠失、付加および／または挿入において異なる該配列の改変体であって、このような改変により、該改変体の抗原特異的抗血清および／またはT細胞株もしくはクローンと反応する能力が実質的に減少されていない、改変体、からなる群より選択される配列を含む、ポリペプチド。

【請求項5】

請求項1に記載のポリペプチドであって、前記免疫原性部分が、以下：

(a) CMTWNQMN L (配列番号49および258)、RMFPNAPY L (配列番号185および293)；NAPYLPSC L (配列番号144)；RDLNALLP AVPSLGGGG (配列番号1)；RDLNALLPAVSSLGGGG (配列番号13)；ALLPAVSSL (配列番号255)；ALLPAVP SL (配列番号34)；VLDFAPPGA (配列番号241)；VR RVSGVAPT L VRS (配列番号17)；RIHTHGVFRG I Q D VR (配列番号15および16)ならびに、

(b) 1以上の置換、欠失、付加および／または挿入において異なる該配列の改変体であって、このような改変により、該改変体の抗原特異的抗血清および／またはT細胞株もしくはクローンと反応する能力が実質的に減少されていない、改変体、からなる群より選択されるポリペプチド配列を含む、ポリペプチド。

【請求項6】

前記免疫原性部分が、CMTWNQMN L (配列番号49および258)またはRMFPNAPY L (配列番号185および293)のポリペプチド配列を含む、請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項7】

前記ポリペプチドが、ネイティブのWT1ポリペプチドの4～16の連続するアミノ酸を含む、請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項8】

前記ポリペプチドが、ネイティブのWT1ポリペプチドの8～10の連続するアミノ酸を含む、請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項9】

ネイティブのWT1ポリペプチドの免疫原性部分あるいは1以上の置換、欠失、付加および／または挿入において異なるその改変体を含む、ポリペプチドであって、このような改変により、該改変体のWT1特異的抗血清および／またはT細胞株もしくはクローンと反応する能力が実質的に減少しておらず、ここで該免疫原性部分は、配列番号2に記載されるアミノ酸残基を含む、ポリペプチド。

【請求項10】

請求項1～9のいずれか1項に記載のポリペプチドを、薬学的に受容可能なキャリアまたは賦形剤と組み合わせて含む、薬学的組成物。

【請求項11】

請求項1～9のいずれか1項に記載のポリペプチドを、非特異的免疫応答エンハンサー

と組み合わせて含む、ベクター。

【請求項 1 2】

以下を含む、薬学的組成物：

(a) W T 1 ポリペプチドであって、該ポリペプチドは、ネイティブの W T 1 の免疫原性部分あるいは 1 以上の置換、欠失、付加および / または挿入において異なるその改変体を含み、このような改変により、該改変体の抗原特異的 T 細胞株もしくはクローニングと反応する能力が実質的に減少していない、 W T 1 ポリペプチド；ならびに

(b) 薬学的に受容可能なキャリアまたは賦形剤。

【請求項 1 3】

以下を含む、ベクター：

(a) W T 1 ポリペプチドであって、該ポリペプチドは、ネイティブの W T 1 の免疫原性部分あるいは 1 以上の置換、欠失、付加および / または挿入において異なるその改変体を含み、このような改変により、該改変体の抗原特異的 T 細胞株もしくはクローニングと反応する能力が実質的に減少していない、 W T 1 ポリペプチド；ならびに

(b) 患者における T 細胞応答を優先的に増強する非特異的免疫応答エンハンサー。

【請求項 1 4】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチドをコードする、ポリヌクレオチド。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載のポリヌクレオチドを、薬学的に受容可能なキャリアまたは賦形剤と組み合わせて含む、薬学的組成物。

【請求項 1 6】

請求項 1 4 に記載のポリヌクレオチドを、非特異的免疫応答エンハンサーと組み合わせて含む、ワクチン。

【請求項 1 7】

前記免疫応答エンハンサーがアジュバントである、請求項 1 1 、 1 3 および 1 6 のいずれか 1 項に記載のワクチン。

【請求項 1 8】

請求項 1 1 、 1 3 および 1 6 のいずれか 1 項に記載のワクチンであって、前記非特異的免疫応答エンハンサーが、 M o n t a n i d e I S A 5 0 、 S e p p i c M O N T A N I D E I S A 7 2 0 、サイトカイン（例えば、 G M - C S F 、 F l a t 3 - リガンド）、ミクロスフェア、ジメチルジオクタデシルアンモニウムプロミド (D D A) ベースのアジュバント、 A S - 1 、 A S - 2 、 R i b i A d j u v a n t システムベースのアジュバント、 Q S 2 1 、サボニンベースのアジュバント、マイクロフルイダイズされた形態の S y n t e x アジュバント、 M V 、 d d M V 、免疫刺激複合体 (i s c o m) ベースのアジュバント、および不活性化毒素からなる群より選択される、ワクチン。

【請求項 1 9】

前記免疫応答エンハンサーが、患者における T 細胞応答を優先的に増強する、請求項 1 1 および 1 6 のいずれか 1 項に記載のワクチン。

【請求項 2 0】

活性な治療用物質として使用するための、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 2 1】

患者において免疫応答を増強または誘導するための医薬の製造における使用のための、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 2 2】

被験体において癌を処置するための医薬の製造における使用のための、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 2 3】

患者において白血病を処置するための医薬の製造における使用のための、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。